

2014年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観(連結)	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況(対前年・対予想)	P.3
4. 主要製品の状況	P.4
5. 主な子会社の業績と予想	P.5
6. 第2四半期 業績と予想(連結)	P.6
7. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.7
8. 開発品一覧	P.8~9
【参考資料】	
9. セグメント情報	P.11
10. 損益計算書の概要:連結	P.12~13
11. 貸借対照表の概要:連結	P.14
12. 主な業績項目の推移:連結	P.15
13. 杏林製薬資料	P.16~19

2013年11月5日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2014年3月期 第2四半期 決算概観(連結)

(単位:百万円)

	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	前年比	14年3月期 (修正予想)	前年比	14年3月期 (当初予想)	前年比
売上高	46,707	46,387	47,954	50,851	+6.0%	112,600	+5.2%	113,000	+5.6%
営業利益	4,201	4,900	6,269	6,213	-0.9%	18,200	+1.4%	18,600	+3.6%
経常利益	4,542	5,253	6,609	6,531	-1.2%	18,800	+0.7%	19,200	+2.8%
当期純利益	2,959	3,355	4,295	4,397	+2.4%	12,400	-0.2%	12,700	+2.2%

14年3月期 第2四半期 連結業績(実績)

【売上高】 主力製品の伸長、12年10月に事業を開始したキョーリン製薬グループ工場(株)の寄与により新薬事業(医薬品事業)の売上は前年度を上回る実績となりました。また、後発医薬品事業(医薬品事業)の売上も前年を上回り、売上高は508億51百万円(前年比6.0%増)と増収になりました。

【利益】 増収により売上総利益は増加しましたが(売上原価率は前年に対して横ばい)、販売費及び一般管理費(研究開発費、一般経費の増加等)が前年に対し増加したため、営業利益は62億円(前年比0.9%減)となりました。また、当四半期純利益は44億円(前年比2.4%増)となりました。

14年3月期 連結業績(予想)

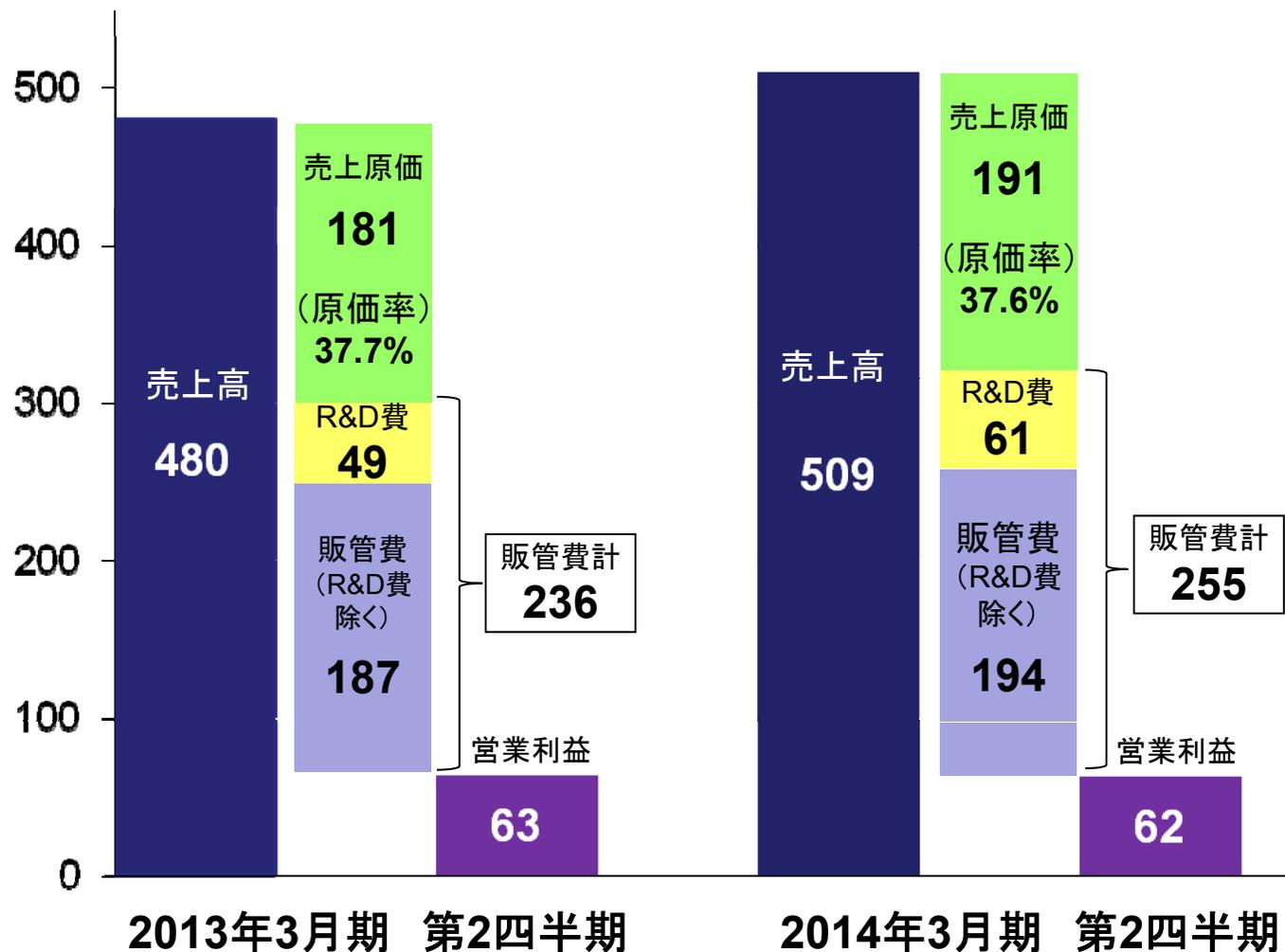
【売上高】 医薬品事業(新薬、一般用医薬品他)が当初予想を下回る見込みであることから、14年3月期の売上高を1,126億円(4億円減)に下方修正いたしました。

【利益】 売上を下方修正したことに加え、今年度発売(予定含む)の新製品及び為替(円安)の影響により原価率が当初の予想に対して上昇する見込みとなったため、売上総利益の減少が予想され、営業利益を182億円(4億円減)、経常利益を188億円(4億円減)、当期純利益を124億円(3億円減)に下方修正いたしました。

◇平成25年5月9日付け「平成25年3月期 決算短信」にて公表しました平成26年3月期の連結業績予想を上記の通り修正しました。

2014年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位: 億円)



ポイント①

◇売上高は前年比29億円増

- ・国内新医薬品の増加
- ・キョーリン製薬グループ工場の売上寄与

ポイント②

◇売上原価率は横ばい

◇売上総利益は19億円増

ポイント③

◇販管費は前年比19億円増

- ・R&D費は12億円増
(パイプラインの進展により下期計画を前倒し)
- ・販管費 (R&D費除く) は7億円増

営業利益は前年比1億円減

2014年3月期 第2四半期 業績の状況(対前年・対予想)



(単位: 億円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	対前年
売上高	480	509	+29
医薬品事業	470	500	+30
◆新医薬品	397	429	+32
○国内	387	417	+30
○海外	10	12	+2
◆後発医薬品	51	52	+1
◆一般用医薬品他	23	20	-3
ヘルスケア事業 (スキンケア)	9	8	-1
営業利益	63	62	-1
経常利益	66	65	-1
四半期純利益	43	44	+1

	対前年	対予想
■売上高	509億円 (+29)	(-6)
◆医薬品事業	500億円 (+30)	(-8)
●国内新医薬品	417億円 (+30)	(-6)
13.3(2Q)	14.3(2Q)	
・キプレス	163 ⇒ 171	(+8) (-6)
・ムコダイン	83 ⇒ 82	(-1) (+2)
・ペンタサ	90 ⇒ 94	(+4) (+1)
・ウリトス	36 ⇒ 37	(+1) (-2)
・キョーリン製薬グループ工場の売上寄与		
●海外新医薬品	12億円 (+2)	(+1)
・ガチフロキサシン	9 ⇒ 10	(+1) (+1)
●後発医薬品	52億円 (+1)	(+1)
・使用促進策等により卸店ルート(保険調剤薬局)の売上増加		
●一般用医薬品他	20億円 (-3)	(-2)
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	8億円 (-1)	(+1)
■営業利益	62億円 (-1)	(-5)
◆営業利益率は12.2%と0.9ポイント低下		
●原価率: 前年比0.1ポイント低下 (37.7%⇒37.6%)		
【上昇要因】キョーリン製薬グループ工場、為替の影響		
【低下要因】導出品のロイヤリティ収入の増加		
●研究開発費率: 前年比1.8ポイント上昇 (10.2%⇒12.0%)		(+4)
* 49億円⇒61億円(12億円増加) 開発パイプラインの進展(主にKRP-209Ph2a)		
●販管費率(除R&D費): 前年比0.8ポイント低下 (39.0%⇒38.2%)		
* 187億円⇒194億円(7億円増加) 一般経費(本社移転、特許等使用料)、販売費増加		
■四半期純利益	44億円 (+1)	(-2)
◆配当(中間)	10円00銭	

2014年3月期 第2四半期 主要製品の状況

(単位: 億円)

		11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期		13年3月期	14年3月期 (修正予想)	14年3月期 (当初予想)
					実績	前 同 比			
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	141	157	163	171	+5.0%	396	403	408
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	94	91	83	82	-0.6%	191	188	187
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	99	91	90	94	+4.8%	176	185	186
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	24	29	36	37	+2.8%	75	80	84
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	20	18	15	15	-0.7%	30	29	27
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	13	8	9	10	+14.1%	16	18	16
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	9	9	10	10	-1.3%	20	20	21

主な子会社の業績と予想

(単位: 億円)

杏林製薬	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期
売上高	430	449
営業利益	59	56
当期純利益	42	43

13年3月期	14年3月期 (修正予想)
959	995
171	170
119	119

14年3月期 (当初予想)
1,000
177
124

キョーリン リメディオ	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期
売上高	52	55
営業利益	1	2
当期純利益	0	1

13年3月期	14年3月期 (修正予想)
104	118
4	4
5	2

14年3月期 (当初予想)
115
4
2

ドクタープログラム	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期
売上高	9	8
営業利益	-1	1
当期純利益	-2	1

13年3月期	14年3月期 (修正予想)
19	17
-2	1
-3	1

14年3月期 (当初予想)
17
1
1

2014年3月期 第2四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	前年差額	前年比	13年3月期	14年3月期 (修正予想)	14年3月期 (当初予想)
売上高	47,954	50,851	+2,897	+6.0%	107,031	112,600	113,000
医薬品事業	47,034	50,040	+3,006	+6.4%	105,162	110,900	111,300
◆新医薬品	39,684	42,858	+3,173	+8.0%	90,686	95,100	95,600
○国内	38,661	41,697	+3,035	+7.9%	88,286	92,800	93,500
○海外	1,023	1,160	+137	+13.5%	2,400	2,300	2,100
◆後発医薬品	5,056	5,184	+128	+2.5%	10,095	11,400	11,100
◆一般用医薬品他	2,292	1,997	-295	-12.9%	4,379	4,300	4,600
ヘルスケア事業 (スキンケア)	920	810	-109	-11.9%	1,869	1,700	1,700
営業利益	6,269	6,213	-55	-0.9%	17,948	18,200	18,600
経常利益	6,609	6,531	-77	-1.2%	18,676	18,800	19,200
当期純利益	4,295	4,397	+101	+2.4%	12,422	12,400	12,700

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結)

(単位:百万円)

	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	増減比	13年3月期	14年3月期 (修正予想)	14年3月期 (当初予想)
研究開発費	6,879	6,075	4,892	6,119	+25.1%	11,059	11,800	12,100
設備投資	633	402	1,181	1,618	+37.1%	6,576	4,200	4,400
減価償却費	1,163	1,122	1,119	1,460	+30.4%	2,738	3,200	3,300

【設備投資の詳細】

(単位:億円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	13年3月期	14年3月期 (修正予想)	14年3月期 (当初予想)
工場設備	4	8	46	19	16
管理・販売設備	5	4	14	14	12
研究用設備	2	4	5	9	16

開発品一覧①(2013年11月5日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2014年3月期 第1四半期 7月30日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※承認 (13年9月)	(アメリカ) スカイファーマ :申請(09年3月) (欧州) ムンディファーマ :上市(12年9月)	フルティフォーム (KRP-108) (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	吸入ステロイド薬(ICS:フルチカゾン)及び長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社とライセンス契約 (08年4月) 国内PhⅢ終了(12年3月)
PhⅢ (12年9月)	(欧州) アルミラール社 :上市(12年9月) (アメリカ) フォレスト社 :上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器:Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (13年4月)		キプレス (チュアブル錠、 細粒)	気管支喘息治療剤	米国 メルク社	小児:アレルギー性鼻炎	新効能・効果 MSD(株)との共同開発
※PhⅢ (13年8月)	(欧州) アルミラール社 :申請(13年10月) (アメリカ) フォレスト社:PhⅢ	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA:アクリジニウム)と長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)

- ・潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ坐剤1g」: 2013年6月発売
- ・過活動膀胱治療剤「ウリトス」: 2013年7月韓国で発売(鐘根堂)

開発品一覧②(2013年11月5日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2014年3月期 第1四半期 7月30日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (11年8月)	Ph III ムツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ ムツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	ムツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ハルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ハルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
※Ph II (13年9月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph I (12年7月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		
※Ph I (13年10月)		KRP-EPA605	過活動膀胱治療剤	自社	プロスタグランジンEP1受容体拮抗作用を有し、膀胱の排尿筋過活動を抑制することにより頻尿の改善が期待される	キッセイ薬品工業(株)との共同開発

参考資料

2014年3月期 第2四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	509	+29	62	-1
医薬品事業計	500	+30	59	-4
◆新医薬品	429	+32		
○国内	417	+30		
○海外	12	+2		
◆後発医薬品	52	+1		
◆一般用医薬品他	20	-3		
ヘルスケア事業計	8	-1	1	+2
調整額	-	-	2	+1

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

損益計算書の概要：連結①

(単位：百万円)

	13年3月期 第2四半期		14年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	47,954	100.0%	50,851	100.0%	+6.0%	+2,897
医薬品事業	47,034	98.1%	50,040	98.4%	+6.4%	+3,006
◆新医薬品	39,684	82.8%	42,858	84.3%	+8.0%	+3,173
○国内	38,661	80.6%	41,697	82.0%	+7.9%	+3,035
○海外	1,023	2.2%	1,160	2.3%	+13.5%	+137
◆後発医薬品	5,056	10.5%	5,184	10.2%	+2.5%	+128
◆一般用医薬品他	2,292	4.8%	1,997	3.9%	-12.9%	-295
ヘルスケア事業 (スキンケア)	920	1.9%	810	1.6%	-11.9%	-109

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬(株)
Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリン リメディオ(株)
キョーリン メディカルサプライ(株)
ドクタープログラム(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

対前年

■ 売上高 50,851百万円 (+2,897百万円)

● 国内新医薬品 41,697百万円 (+3,035百万円)

	13.3(2Q)	⇒	14.3(2Q)	(億円)
・キプレス	163	⇒	171	(+ 8)
・ムコダイン	83	⇒	82	(- 1)
・ペンタサ	90	⇒	94	(+ 4)
・ウリトス	36	⇒	37	(+ 1)

● 海外新医薬品 1,160百万円 (+ 137百万円)

・ガチフロキサシン 9 ⇒ 10 (+ 1)

● 後発医薬品 5,184百万円 (+ 128百万円)

* 使用促進策等により卸店ルート(保険調剤薬局)の売上増加

● 一般用医薬品等 1,997百万円 (- 295百万円)

* その他の売上の減少

● ヘルスケア(スキンケア) 810百万円 (- 109百万円)

* ドクタープログラムの売上減少

損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	13年3月期 第2四半期		14年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	47,954	100.0%	50,851	100.0%	+6.0%	+2,897
売上原価	18,093	37.7%	19,097	37.6%	+5.5%	+1,003
売上総利益	29,860	62.3%	31,754	62.4%	+6.3%	+1,893
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	23,591 (4,892)	49.2% (10.2%)	25,541 (6,119)	50.2% (12.0%)	+8.3% (+25.1%)	+1,949 (+1,227)
営業利益	6,269	13.1%	6,213	12.2%	-0.9%	-55
営業外収益	401	0.8%	337	0.6%	-15.8%	-63
営業外費用	61	0.1%	19	0.0%	-67.5%	-41
経常利益	6,609	13.8%	6,531	12.8%	-1.2%	-77
特別利益	12	0.0%	237	0.5%	+1,765.2%	+224
特別損失	15	0.0%	184	0.4%	+1,101.2%	+168
税金等調整前 四半期純利益	6,606	13.8%	6,584	12.9%	-0.3%	-22
法人税・住民税 及び事業税	2,157	4.5%	1,810	3.6%	-16.1%	-347
法人税等調整額	153	0.3%	376	0.7%	+145.8%	+223
四半期純利益	4,295	9.0%	4,397	8.6%	+2.4%	+101

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比0.1ポイント低下
(37.7%→37.6%)
【上昇要因】キョーリン製薬グループ工場、為替の影響
【低下要因】導出品のロイヤリティ収入の増加
- ◆研究開発費率：前年比1.8ポイント上昇
(10.2%→12.0%)
* 49億円→61億円 (12億円増加)
開発パイプラインの進展(主にKRP-209Ph2a)
- ◆販管費率(除くR&D費)：前年比0.8ポイント低下
(39.0%→38.2%)
* 187億円→194億円 (7億円増加)
一般経費(本社移転、特許等使用料)、販売費増加
- 営業利益 6,213百万円 (- 55百万円)
* 営業利益率は12.2%と0.9ポイント低下
- 四半期純利益 4,397百万円 (+ 101百万円)
- 配当(中間) 10円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	13年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	108,265	69.9%
現金及び預金	21,370	—
受取手形及び売掛金	46,555	
有価証券	11,667	
棚卸資産	19,938	
その他流動資産	8,733	
固定資産	46,702	30.1%
有形固定資産	18,209	—
無形固定資産	916	
投資その他	27,577	
資産合計	154,968	100.0%

流動負債	22,897	14.8%
支払手形及び買掛金	8,556	—
その他流動負債	14,341	
固定負債	2,970	1.9%
負債合計	25,868	16.7%
株主資本	126,985	81.9%
その他の包括利益累計額	2,113	1.4%
その他有価証券評価差額金	2,293	—
為替換算調整勘定	-180	
純資産合計	129,099	83.3%
負債及び純資産合計	154,968	100.0%

14年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
111,665	71.7%	+3,400
34,902	—	—
35,547		
12,664		
22,112		
6,439		
44,174	28.3%	-2,528
17,864	—	—
1,017		
25,292		
155,840	100.0%	+872

23,392	15.0%	+494
10,613	—	—
12,779		
2,349	1.5%	-621
25,741	16.5%	-126
128,393	82.4%	+1,407
1,705	1.1%	-408
1,767	—	—
-61		
130,098	83.5%	+999
155,840	100.0%	+872

<当期のポイント>

■ 流動資産：3,400百万円増

- ・現金及び預金の増加 (+13,532百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-11,008百万円)
- ・有価証券の増加 (+ 996百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+ 2,174百万円)
- ・その他流動資産の減少 (- 2,294百万円)

■ 固定資産：2,528百万円減

- ・有形固定資産の減少 (- 344百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+ 100百万円)
- ・投資その他の減少 (- 2,284百万円)

■ 流動負債：494百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 (+ 2,056百万円)
- ・その他流動負債の減少 (- 1,561百万円)

■ 固定負債：621百万円減

主な業績項目の推移: 連結

(単位: 百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	46,387 (968)	47,954 (1,023)	50,851 (1,160)
売上原価 (売上原価率)%	16,611 (35.8%)	18,093 (37.7%)	19,097 (37.6%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	24,875 (53.6%)	23,591 (49.2%)	25,541 (50.2%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	6,075 (13.1%)	4,892 (10.2%)	6,119 (12.0%)
営業利益 (営業利益率)%	4,900 (10.6%)	6,269 (13.1%)	6,213 (12.2%)
経常利益 (経常利益率)%	5,253 (11.3%)	6,609 (13.8%)	6,531 (12.8%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	3,355 (7.2%)	4,295 (9.0%)	4,397 (8.6%)
一株当たり当期利益(円)	44.90円	57.49円	58.85円
資本金	700	700	700
総資産	138,440	147,425	155,840
純資産	112,717	120,200	130,098
一株当たり純資産(円)	1,508.46円	1,608.74円	1,741.24円
自己資本利益率%	3.0%	3.6%	3.4%
自己資本比率%	81.4%	81.5%	83.5%
人員(人)	2,332人	2,346人	2,481人
設備投資	402	1,181	1,618
減価償却費	1,122	1,119	1,460

13年3月期	14年3月期 (修正予想)	14年3月期 (当初予想)
107,031 (2,400)	112,600 (2,300)	113,000 (2,100)
40,133 (37.5%)	—	—
48,949 (45.7%)	—	—
11,059 (10.3%)	11,800 (10.5%)	12,100 (10.7%)
17,948 (16.8%)	18,200 (16.2%)	18,600 (16.5%)
18,676 (17.4%)	18,800 (16.7%)	19,200 (17.0%)
12,422 (11.6%)	12,400 (11.0%)	12,700 (11.2%)
166.25円	165.96円	169.98円
700	—	—
154,968	—	—
129,099	—	—
1,727.86円	—	—
10.0%	—	—
83.3%	—	—
2,444人	—	—
6,576	4,200	4,400
2,738	3,200	3,300

損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位：百万円)

	13年3月期 第2四半期		14年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	42,951	100.0%	44,933	100.0%	+4.6%	+1,982
医薬品事業	42,951	100.0%	44,933	100.0%	+4.6%	+1,982
◆新医薬品	39,636	92.3%	41,311	92.0%	+4.2%	+1,675
○国内	38,661	90.0%	40,214	89.5%	+4.0%	+1,552
○海外	974	2.3%	1,097	2.5%	+12.6%	+122
◆後発医薬品	1,963	4.6%	2,216	4.9%	+12.9%	+253
◆一般用医薬品他	1,351	3.1%	1,405	3.1%	+4.0%	+53

<当期のポイント>

- 対前年
- 売上高 **44,933百万円** (+1,982百万円)
 - 国内新医薬品 **40,214百万円** (+1,552百万円)
- | | 13.3(2Q) | | 14.3(2Q) | (億円) |
|--------|----------|---|----------|-------|
| ・キプレス | 163 | ⇒ | 171 | (+ 8) |
| ・ムコダイン | 83 | ⇒ | 82 | (- 1) |
| ・ペンタサ | 90 | ⇒ | 94 | (+ 4) |
| ・ウリス | 36 | ⇒ | 37 | (+ 1) |
- 海外新医薬品 **1,097百万円** (+ 122百万円)
 - ・ガチフロキサシン 9 ⇒ 10 (+ 1)
 - 後発医薬品 **2,216百万円** (+ 253百万円)
 - ・主にキョーリン リメディオ製品の売上増
 - 一般用医薬品他 **1,405百万円** (+ 53百万円)
 - ・ミルトン 10 ⇒ 10 (0)

損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	13年3月期 第2四半期		14年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	42,951	100.0%	44,933	100.0%	+4.6%	+1,982
売上原価	15,360	35.8%	15,609	34.7%	+1.6%	+249
売上総利益	27,591	64.2%	29,323	65.3%	+6.3%	+1,732
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	21,680 (4,681)	50.5% (10.9%)	23,748 (5,848)	52.9% (13.0%)	+9.5% (+24.9%)	+2,068 (+1,167)
営業利益	5,910	13.8%	5,575	12.4%	-5.7%	-335
営業外収益	588	1.4%	525	1.1%	-10.8%	-63
営業外費用	28	0.1%	12	0.0%	-56.0%	-16
経常利益	6,470	15.1%	6,087	13.5%	-5.9%	-383
特別利益	10	0.0%	235	0.5%	+2,154.7%	+225
特別損失	8	0.0%	32	0.0%	+296.0%	+24
税引前四半期純利益	6,473	15.1%	6,291	14.0%	-2.8%	-181
法人税・住民税 及び事業税	2,109	4.9%	1,689	3.8%	-19.9%	-419
法人税等調整額	122	0.3%	340	0.7%	+177.4%	+217
四半期純利益	4,240	9.9%	4,261	9.5%	+0.5%	+20

<当期のポイント>

◆原価率：前年比 1.1ポイント低下
(35.8%→34.7%)

【上昇要因】為替の影響

【低下要因】導出品のロイヤリティ収入の増加

◆研究開発費率：前年比 2.1ポイント上昇
(10.9%→13.0%)

* 47億円→58億円 (11億円増加)

開発パイプラインの進展(主にKRP-209Ph2a)

◆販管費率(除くR&D費)：前年比0.2ポイント上昇
(39.6%→39.8%)

■営業利益 5,575百万円 (-335百万円)

* 営業利益率は12.4%と1.4ポイント低下

■四半期純利益 4,261百万円 (+20百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)

	13年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	84,041	69.0%
現金及び預金	7,192	—
売掛金	43,320	
有価証券	11,604	
棚卸資産	16,615	
その他流動資産	5,308	
固定資産	37,840	31.0%
有形固定資産	11,340	—
無形固定資産	284	
投資その他	26,215	
資産合計	121,881	100.0%

流動負債	16,880	13.9%
支払手形及び買掛金	5,445	—
その他流動負債	11,435	
固定負債	2,156	1.8%
負債合計	19,037	15.6%
株主資本	100,586	82.5%
評価・換算差額等	2,257	1.9%
純資産合計	102,844	84.4%
負債及び純資産合計	121,881	100.0%

14年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
86,440	70.6%	+2,399
17,619	—	—
32,580		
12,601		
18,580		
5,058		
35,955	29.4%	-1,884
11,207	—	—
315		
24,432		
122,396	100.0%	+514

17,306	14.1%	+426
7,206	—	—
10,100		
1,481	1.2%	-675
18,787	15.3%	-249
101,877	83.3%	+1,290
1,731	1.4%	-526
103,608	84.7%	+763
122,396	100.0%	+514

<当期のポイント>

■流動資産：2,399百万円増

- ・現金及び預金の増加 (＋10,426百万円)
- ・売掛金の減少 (－10,739百万円)
- ・有価証券の増加 (＋996百万円)
- ・棚卸資産の増加 (＋1,964百万円)

■固定資産：1,884百万円減

- ・有形固定資産の減少 (－133百万円)
- ・無形固定資産の増加 (＋31百万円)
- ・投資その他の減少 (－1,782百万円)

■流動負債：426百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 (＋1,761百万円)
- ・その他流動負債の減少 (－1,335百万円)

■固定負債：675百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬

(単位: 百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	41,831 (927)	42,951 (974)	44,933 (1,097)
売上原価 (売上原価率)%	14,383 (34.4%)	15,360 (35.8%)	15,609 (34.7%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	22,735 (54.4%)	21,680 (50.5%)	23,748 (52.9%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	5,762 (13.8%)	4,681 (10.9%)	5,848 (13.0%)
営業利益 (営業利益率)%	4,712 (11.3%)	5,910 (13.8%)	5,575 (12.4%)
経常利益 (経常利益率)%	5,282 (12.6%)	6,470 (15.1%)	6,087 (13.5%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	3,414 (8.2%)	4,240 (9.9%)	4,261 (9.5%)
一株当たり当期利益(円)	45.97円	57.10円	57.38円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	115,008	124,789	122,396
純資産	96,674	104,128	103,608
一株当たり純資産(円)	1,301.70円	1,402.06円	1,395.06円
自己資本利益率%	3.6%	4.1%	4.1%
自己資本比率%	84.1%	83.4%	84.7%
人員(人)	1,826人	1,832人	1,797人
設備投資	313	716	929
減価償却費	841	828	807

13年3月期	14年3月期 (修正予想)	14年3月期 (当初予想)
95,894 (2,277)	99,500 (2,100)	100,000 (1,900)
33,868 (35.3%)	—	—
44,898 (46.8%)	—	—
10,733 (11.2%)	11,000 (11.1%)	11,300 (11.3%)
17,127 (17.9%)	17,000 (17.1%)	17,700 (17.7%)
18,209 (19.0%)	17,800 (17.9%)	18,600 (18.6%)
11,931 (12.4%)	11,900 (12.0%)	12,400 (12.4%)
160.66円	—	—
4,317	—	—
121,881	—	—
102,844	—	—
1,384.77円	—	—
11.6%	—	—
84.4%	—	—
1,797人	—	—
1,507	2,300	2,800
1,743	1,800	1,800